



Jichi 地域連携ニュース

- ・最新のがん薬物療法を安心して
受けていただくために …… 山口 博紀
- ・小児科診療科長就任のご挨拶 …… 田島 敏広
- ・子どもの心の診療科 科長・教授
就任のご挨拶 …… 柳橋 達彦
- ・「脳卒中・心臓病総合支援センター」の開設
- ・「仕事に関すること」病院で相談できます
- ・治療と仕事の両立に関する相談会
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・FAXによる患者様紹介について

最新のがん薬物療法を安心して受けていただくために

腫瘍センター 臨床腫瘍部 教授
臨床腫瘍科 科長 山口 博紀



このたび、2022年4月1日付で腫瘍センター臨床腫瘍部教授を拝命し、臨床腫瘍科科長に就任しました山口 博紀と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

出身は埼玉県です。県立浦和高校、東京大学医学部を卒業後、東京大学第一外科に入局し、消化器外科医として研鑽を積んできました。途中、文部科学省や宮内庁に出向した異色の経験もあります。2016年1月に東京大学腫瘍外科講師から自治医科大学臨床腫瘍部に准教授として着任し、がん薬物療法に特化したがん診療に携わってまいりました。

近年のがん治療の進歩はめざましく、化学療法の分野においてもエビデンスをもって有効といえる抗がん剤が次々に現れ、切除不能再発癌の治療成績は年々向上しています。また、低侵襲手術やIMRT放射線療法などの局所療法、緩和治療や副作用に対する支持療法も近年格段に進歩しました。これらの治療を組み合わせることで最大の治療効果を得るいわゆる集学的治療ががん治療の主流となっているため、がん治療は年々専門分化し、内容が複雑で高度なものとなっています。

化学療法の分野においてこの変化に適切に対応するためには、多くの種類の抗がん剤の中から適切な組み合わせを選択し、きめ細かな全身管理の下でそれらを十分に安全に使いこなす専門家の存在が必要です。

自治医科大学は、いち早く抗がん剤の専門家の必要性に着目し、2006年に臨床腫瘍科を開設し、主に消化器癌、頭頸部癌、原発不明癌を対象とし、がん薬物療法、集学的治療を行ってきました。開設以来、消化器一般移植外科、消化器内科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科等と臨床腫瘍科がたいへん密接な関係を保ち、お互いに協力をしながら集学的治療を行ってきました。また、治療方針の決定が難しい場合には、カンサーボードにて各科の担当医師・担当多職種の間で十分な議論が行われ方針が決められています。

日常診療においてはチーム医療により医師、認定薬剤師、専門看護師、公認臨床心理師、メディカルソーシャルワーカー、遺伝カウンセラー等が密に協力し、個々の患者さんについて毎日開催される多職種カンファにより情報共有を行い、最良の診療方針を決定しています。

抗がん剤治療を必要とする患者さんは日々増え続けておりますが、がん患者さんとそのご家族が安心して最善のがん治療を受けることができるよう日々努力を続けております。今後とも皆様のご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。

小児科診療科長就任のご挨拶

とちぎ子ども医療センター 小児科 教授
小児科 診療科長 田島 敏広



この度 2022 年 4 月 1 日に小児科診療科長を拝命しました田島敏広と申します。1986 年に北海道大学医学部を卒業し、同年北海道大学小児科学講座に入局し、研修病院、さらに網走、中標津などでの地域医療を重ねるとともに、1995-1998 年の 3 年間米国国立衛生研究所にて小児の成長・発達・遺伝子治療の研究を行いました。帰国後は北海道大学小児科に勤務し、2015 年 12 月自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科教授として着任いたしました。

総合診療に加え、専門分野は小児内分泌・糖尿・代謝・臨床遺伝です。小児の成長の疾患は、新生児、神経、循環器、血液、腫瘍、免疫アレルギー、腎臓、消化器、こころ・精神、外科、先天性心臓血管外科、整形外科、脳外科、泌尿器、歯科、耳鼻科、放射線科など他科との連携が必須ですので、連携に努めてゆきます。

小児医療はあらたな変革点に差し掛かっています。各専門領域の高難度医療に加え、細胞再生医療、遺伝子治療などの進歩はスピードアップしています。またこどもたちを取り巻く社会環境も変化し、より強固な福祉支援が必要になってきています。

小児科においては、前任の山形教授の強いリーダーシップにより、日本・世界の最先端の医療を展開しています。また県のセンター病院として、行政と連携し、子どもたちの健康福祉の増進を強力に推し進めています。

少子化はすすんでいます、決して小児科の役割は減っているわけではありません。今後も周辺医療機関の皆様、院内の小児科スタッフ・他診療科・看護・臨床検査・放射線検査・事務・研究補助員などと共に、よりよい医療を目指し、未来を担う子どもたちの力になれるように努めてゆく所存でございます。引き続きご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



子どもの心の診療科 科長・教授就任のご挨拶

子どもの心の診療科 診療科長・教授 柳橋 達彦



令和 4 年 4 月とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科の科長・教授を拝命致しました。私は平成 14 年慶應義塾大学を卒業後、小児科医としてキャリアをスタートしました。小児科研修医時代には、済生会宇都宮病院や足利赤十字病院でもお世話になりました。その後、精神医学の研鑽のため同大学精神神経科に移り、大学病院や足利赤十字病院にて精神科臨床の経験を積みました。さいたま市立病院にて小児科専門医を取得した後、子どもの発達と精神疾患を専門としてまいりました。平成 19 年からは、慶應義塾大学にて臨床遺伝学の臨床と研究に携わり、遺伝性疾患をもつ子ども達の精神発達を学びました。平成 24 年から東京都八王子の駒木野病院にて、精神科病院における児童精神科病棟の立ち上げに参加しました。入院治療に加え、思春期デイケア、ゲーム依存デイケアを立ち上げ、子ども達の活動の場、居場所作りに力を注いできました。

令和 3 年に自治医科大学に着任後は、県内全域から様々な精神疾患を抱えた子ども達の治療に当たってまいりました。当科は栃木県唯一の児童精神科病棟として、平成 18 年に開設され、摂食障害や発達障害、加えて家庭環境が不安定な子ども達の治療に力を入れてきました。また昨今の新型コロナウイルスの流行、ゲームや SNS などのネット社会は、子ども達が過ごす環境や友達関係に大きな影響を与えています。当科は、様々な社会環境によって変化する子どものニーズに柔軟に対応することが求められています。子どもや家族の様々な困りごとに応じることができるよう、診断技術や治療方法の向上に全力を挙げてまいります。また子ども達の健やかな成長発達のためには、地域連携が欠かせません。地域連携を強化していけるよう、情報交換や病診連携の円滑化を進めてまいります。今後とも、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

「脳卒中・心臓病総合支援センター」の開設

2022/10/01

脳卒中の後遺症により手足がうまく動かない、呂律が回らない、うまく話せない、心臓病で息切れやむくみの症状等で悩んでいる患者の皆様やそのご家族に対して、社会生活を円滑に営むために医療ソーシャルワーカーが「社会参加・仕事のこと・経済的なこと」等への支援を行います。お悩みの方はぜひ相談窓口へお越しください。

「仕事に関すること」 病院で相談できます

例えば

治療を受けながら
仕事を続けたい

以前と同じように
働けるか不安

いつ、どのように
仕事に復帰したら
いいか？

どのような支援
制度があるか？

職場に病気をどう
伝えたらいいか？

再就職したい

秘密厳守

十分な時間をご用意させていただくため、
事前に相談希望日時をお知らせいただくことをお勧めします。

お問合せ：患者サポートセンター（医療福祉相談室）

がん相談支援センター

脳卒中・心臓病総合支援センター

受付時間：午前9時～午後4時30分（月～金 ※休診日を除く）

場 所：本館1階 正面玄関西側 TEL：0285-58-7107（直通）



自治医科大学附属病院

治療と仕事の両立に関する相談会

定
着

在職中・休職中の方

両立支援促進員
(栃木産業保健総合支援センター)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
10:00～13:00

就
職

(再)求職中の方

就労ナビゲーター
(ハローワーク宇都宮)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
13:30～15:30

開催予定日 <毎月第2水曜日>

- ・2022年
4月13日 5月11日 6月8日 7月13日 8月10日
9月14日 10月12日 11月9日 12月14日
- ・2023年
1月11日 2月8日 3月8日

事前に相談希望日時を
お知らせください。

オンライン相談
できます!!



お問合せ：患者サポートセンター（医療福祉相談室）

がん相談支援センター

脳卒中・心臓病総合支援センター

受付時間：午前9時～午後4時30分（月～金 ※休診日除く）

場 所：本館1階 正面玄関西側 TEL：0285-58-7107（直通）



自治医科大学附属病院

自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内）

担当：松本、栗本

TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の事務手続きにおける待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただけますようご案内いたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時

受付時間外にお送りいただいた申込書の対応は翌受付時間内での対応となります。

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。
- ◆ セカンドオピニオン・治験の予約は、FAXによる受付は行っておりません。

<FAX 予約のご利用方法>

1. 「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
※腎臓外科・小児外科は「紹介状（診療情報提供書）」を併せてFAXしてください。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療予約票」をお渡しください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

